



ユークン

石川県社会福祉協議会
ボランティア活動振興基金
シンボル・キャラクター

特集

～ボランティアの新しい活動スタイル～

ボランティア探訪

社協の取り組み

みんなでやさしいまちづくり教室

～加賀市社会福祉協議会～

「みんなでやさしいまちづくり教室」は、市内の小学校や児童センターに出向き、障がいのある方からの講話や体験（車いす、点字、手話）などを通じて、子どもたちの「障がいのある方への理解」を深めるとともに、困っている人などに対し「自然にサポート」できるボランティア意識の醸成を目的に行っています。

教室では、車いす体験、点字体験、手話体験を通して、通路の段差や点字ブロック、手話による挨拶など、身近なところにいるいろいろな関係するものがあることを知ってもらい、障がいのある方へのサポートについて、なぜサポートが必要なのか、どの様なサポートが必要なのかなどについてお伝えしています。

子どもたちは、積極的に障がいのある方に質問し、体験を楽しみながら教室に参加しており、子どもたちの「人を思いやる」意識も変化してきているとのことでした。

今後、「みんなでやさしいまちづくり教室」をはじめ、いろいろな社協の事業を通じて、少しでもボランティアに対する意識が向上するような事業を実施していきます。



▶車いすで街中を移動し、歩道の段差などを見て回りました。(動橋児童センター)



▲耳が聴こえない方の生活のことや、挨拶などの手話を教わりました。(山中児童センター)

企業の取り組み

今年で30回目の福祉施設清掃奉仕活動

～一般社団法人石川県ビルメンテナンス協会～

一般社団法人石川県ビルメンテナンス協会が実施している清掃奉仕活動は、平成3年に石川県体開催を控えた会場地金沢の繁華街沿線の清掃を行ったことが始まりです。

それ以降今日まで、全国環境衛生週間行事の一環として地域社会へ貢献するため、金沢市内の地域福祉活動の拠点施設である善隣館での清掃奉仕活動を続けて、今年で30回目を迎えました。

また、平成13年からは金沢市のほか加賀地区、平成14年からは能登地区の福祉施設に於いても活動を拡大して来ました。

清掃活動は、ビルメンテナンス協会会員企業35社から従業員の派遣をいただき、施設の日常清掃では手の行き届かない箇所窓ガラス清掃を専用の器具を使用して行っています。

当協会では清掃奉仕活動は重要な行事の一環であるとして、今後40回、50回と更に活動を続けて行くことを協会の使命と考えています。



▲金沢市の清掃活動結団式の様子



▲清掃作業の様子

県社協報告

サマーボランティア体験2022について

～石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター～

石川県社会福祉協議会では、例年8月～9月にサマーボランティア体験事業を実施しています。

このサマーボランティア体験事業は、主に高校生以上の学生を中心に、社会人やシニア世代なども参加対象とし、社会福祉施設でのボランティア体験を通して、施設利用者との交流や現場で働く職員の生き活きとした姿を身近で感じていただいております。

しかしながら、近年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、体験していただくことがなかなか難しい状況が続いておりましたが、今年度のサマーボランティア体験事業では、延べ111名の多くの方々に体験していただくことができました。

このような状況下におきまして、学校関係者、社会福祉施設等の方々をはじめとして、実施にあたりご協力いただきました関係者の皆様にお礼申し上げます。

体験された方からは、「利用者それぞれで様々な個性があり、関わり方で悩むこともあったが、少しずつ打ち解け、接することができて嬉しかった」「施設で働く魅力を知り、貴重な体験をすることができた」などの声が多く寄せられました。

新型コロナウイルス感染症の終息は、まだ見えない状況が続いておりますが、感染防止対策に取り組みつつ、来年度もサマーボランティア体験事業の実施を予定しておりますので、ご興味がある方は是非ご参加ください！



©石川県社協

集 ボランティアの 特 新しい活動スタイル

近年、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとして、様々な要因により、地域におけるかわりの希薄化や孤立化などの課題が生じています。

また、ボランティア活動においては、各ボランティア団体や受入施設等において様々な工夫をしながら、少しずつ活動が再開されつつありますが、これまでどおりの活動を行なうことは、まだまだ難しい状況が続いています。

そこで、コロナ禍でのボランティア活動の再スタートに向けてのヒントとなる留意ポイントをご紹介しますので、これまで皆さんが地域で築き上げてきた「つながり」をより強くしていくためにも、感染防止対策等に取り組みながら新しい活動スタイルで、足踏みをしていたボランティア活動を一歩ずつ、再開してみませんか。

1 安心・安全を守る

新型コロナウイルスに関係なく、ボランティア活動で大切なことは、「安心・安全を守り、無事に活動を終える」ことです。

ボランティアを受け入れる施設の利用者・職員や活動するボランティア、ボランティアグループ内においても、無事に活動や取り組みを終えられるよう、無理なく活動しましょう。

2 一人ひとりが心がけること

- ①「うつらない」「うつさない」の意識
自分自身の健康を守るだけでなく、周りの人たちの健康を守るための配慮も必要です。
- ②手洗い・うがい、手指消毒をこまめに
- ③マスクの着用
- ④咳エチケットの徹底
- ⑤体調がすぐれない場合は参加を控

5 活動内容に工夫を

社会福祉施設等での活動は、これまでのようにボランティアの受け入れは難しいかもしれません。

その場合は、オンラインを活用して利用者と交流する、活動内容を録画したDVD（楽器演奏、舞踊披露など）を送付する、外回りの清掃作業や花壇の手入れをするなど直接触れ合うことはできなくても、「つながる」ことができる活動も考えてはいかがでしょうか。

6 自宅でできるボランティア活動

使用済み切手や使用済みカード等を収集している団体、中古衣料品を海外へ送る団体などへの寄付等、自宅でできるボランティア活動もあります。

（※団体へ寄付をする場合は、事前に活動内容や所在等についてインターネット等で確認してください）

石川県社会福祉協議会でも使用済みインクカートリッジ・使用済み切手・ベルマーク・書き損じはがきなどを集めています。



7 ボランティア活動保険の加入

万一に備えてボランティア活動保険に加入することをお勧めします。令和4年度より、特定感染症重点プランが新設されました。

	加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外（※）		初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
	賠償責任保険金保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）		
	年間保険料	350円	500円	550円	

※4月1日付で前年度から継続して契約された場合は初日から補償します。

⑥活動後、感染がわかったらすぐに担当者に連絡を



3 感染対策の徹底

- ①換気をこまめに（エアコン等の併用で温度調節を！）
- ②日にちや時間・会場を分けるなど、少人数での開催
- ③参加前の体温測定



④当日の参加者名簿の作成

いつ、だれが参加したのかを記録しておきましょう

⑤人と人との一定の距離の確保

⑥対面で座らない
向かい合わせで座らず、対角線上で座りましょう

⑦プログラム内容の調整

十分な距離を保てない活動はなるべく控え、屋外でのプログラムも検討してみても良いのかもしれない。

4 自分のペースで

ボランティアは自分の関心のあること、趣味などの活動を自由に選ぶことができます。

これまでも自粛生活が続く、活動に対する意欲を失いかけていらっしゃる方もいます。

また、参加者の中には、「今はまだ参加を控えたい」という考えをお持ちの方もいらっしゃいます。

まずはそれぞれの生活を第一に考えていただき、参加や協力を強制せず、様々な選択肢もとれるように柔軟に考え、「なぜやるのか」「誰のためなのか」を再確認してみましょう。

8 活動の振り返り

活動した後に、活動の中で「気づいたこと」「困ったこと」「楽しかったこと」などを話せる場を持ちましょう。何気ない会話の中から課題解決の糸口が見つかるかもしれません。

また、ボランティア受け入れ側の施設利用者・職員にも意見を聞くことで、自分では気づけなかった点や改善できる点を再発見できるかもしれません。

③ 次回のボランティア活動で活かせるように振り返りましょう。



ボランティア活動振興基金 ～活かしますあなたの善意～

ボランティア活動振興基金は、昭和57年、ボランティア活動を支援するために設置されました。県からの補助金や企業や個人からの寄付金を積み立て、その運用益（預金利子）で、福祉ボランティア活動の環境づくりを進めています。

こんなとき こんなお金を

企業の社会貢献として
祝いごと、香典返しの一部を
企業・商店・各団体の開設、創立記念として
お買物のおつり、おこづかいの残りを
お給料から毎月コツコツと

※ボランティア活動振興基金へのご寄付は税控除の対象となります。

基金の状況

■基金現残高

399,294,191円 令和4年10月末現在

内訳 (民間寄付金 199,294,191円)
県補助金 200,000,000円)

基金はこのように活用されています～ボランティア活動機器備品等助成事業～

県内のボランティアグループの活動の充実に必要な器材の購入費用の助成をしています。ボランティアアセンダー運営委員会において、今年度は56団体に助成することが決定しました。

令和4年度ボランティア活動機器・備品等助成事業

(1) 福祉枠

(単位：千円)

No	登録団体	グループ名	助成対象機器・備品	助成額
1	金沢市	石川県救済協会連合会	ペットケージ、リード等	100
2		NPO法人 子どもの虐待防止ネットワーク石川	ノートパソコン	100
3		金沢インターバル速歩教室	ノートパソコン	100
4		小立野婦人会 ボランティアの会	保温ジャー、アルミ鍋	70
5	七尾市	よらん会ね	スカットボールセット	88
6	小松市	中海町いきいきサロン	58型液晶テレビ等	100
7	輪島市	あざし配食ボランティアグループ	鍋、包丁、まな板	18
8		ぼっかぼかサロン	CDラジカセットレコーダー等	76
9	羽咋市	羽咋要約筆記サークル	プロジェクター	100
10		釜屋町サロン ゆざわり草	サーマルカメラ等	99
11		ホト いのやま	49型テレビ	100
12		志々見町げんき会	プロジェクター、ブルーレイディスクプレイヤー等	100
13		ひだまりの家 いのすけ	50型テレビ、DVDプレイヤー	96
14		おっちゃん家	プロジェクター、ノートパソコン	100
15		西北台つ子 見守り隊	放送用アンプ	63
16		川原町なかよし会	フローア畳	70
17		居場所千代の会	スポーツ吹矢セット	96
18	かほく市	おどる舞う会	スピーカー、マイク等	100
19	白山市	白山市食生活改善推進協議会山麓ブロック吉野谷地区	業務用 IH炊飯ジャー	49
20		ホームスタート はくさん	ウェブカメラ等	100
21		ホビー&シャベロッサ	ミシン、キッチンカウンター等	78
22		コーラスささゆり	メモリーカードレコーダー	10
23		ボーイスカウト松任第1回	カセットコンロ、風防板、テント	100
24	能美市	能美子ども食堂ネットワーク	DVDプレイヤー、卓上IH調理器等	100
25		てらい愛唱歌	カラオケシステム	54
26	野々市市	太平寺カフェ	移動式スポーツミラー	91
27	津幡町	いきいきサロン(友和会)	スカットボールセット	85
28		なかよしサロン鳥屋尾	ポッチャボール	73
29		吉倉にここサロン	テーブル	100
30		明井サロン	スティッククリーナー	52
31		健康カフェ 中条となり家	座敷椅子4脚セット	41

32	津幡町	いきいきサロン「さわやかかわの」	プロジェクター、ブルーレイディスクプレイヤー等	82
33		七黒マンボサロン会	座布団	32
34		住吉クラブ 庄カラオケ・お話サロン	カラオケセット	77
35	志賀町	くまっこ隊グループ	えほん、台車等	74
36	能登町	おっさかほうらい会	スカットボールセット	85
37		波並区支え合い活動	オープンレンジ、マイク	84
38		笹川地区お楽しみ会	スカットボールセット	85
39		曾又集楽会	スカットボールセット	85
40		黒川創生会	カセットコンロ、炊飯ジャー等	95
41	石川県	いしかわ骨髄バンク推進・はとの会	ノートパソコン	100
42		いしかわSCD.MSA友の会	プリンター	65
43		金沢市精神障害者家族連合会	ノートパソコン	100
		小計		3,473

(2) まちづくり枠

(単位：千円)

No	登録団体	グループ名	助成対象機器・備品	助成額
1	金沢市	山里の村	チェーンソー、刈払機等	99
2	輪島市	清和流 剣と舞 鳳舞会	ノートパソコン、プリンター	98
3		アオレナ	CDラジカセ	30
4	羽咋市	NPO法人 日本中国朱鷺保護協会	プロジェクター、メガホン	99
5		フラワーメイト	一輪車	11
6		羽咋市観光ボランティアガイド歴史ロマン「こんちま羽咋」	ノートパソコン	100
7		南中央町地域福祉推進チーム	CDラジカセ、血圧計	26
8	白山市	今、いまを大切に未来につなぐImaima	プロジェクター、プリンター、DVDプレイヤー	100
9		千代野 GGOの会	エンジンブローア、チェーンソー等	99
10		ココロド・つるぎ	団体ロゴのデータ化等	49
11	津幡町	津幡おきらくごの会	パーテーション、スタンドミラー	77
12		サロン刈安	四つ鎌、イボ竹	48
13	中能登町	能登王墓ボランティアガイドの会	拡声器	42
		小計		878
		合計		4,351

(1) 福祉枠…高齢者・障害者・児童福祉に関わる活動
(2) まちづくり枠…「福祉のまちづくり」につながる活動

～ボランティアネットをご利用ください～

ボランティア募集情報、ボランティアイベント情報、助成情報等、各種ボランティア情報をご覧いただくことができます。

URL : <http://isk-shakyo.or.jp/volunteer/>

ふれあいネットワーク
発行／ 社会福祉法人 石川県社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒920-8557 金沢市本多町3丁目1番地10号
☎(076)234-1616 FAX(076)222-8900
E-mail : ivc@isk-shakyo.or.jp URL : <http://isk-shakyo.or.jp/volunteer/>

ボランティア活動振興基金のシンボル・キャラクター「ユーくん」です。

生まれば、昭和60年3月29日、この日に新聞広告で県民の皆さんに発表されました。

生みの親は、当時、金沢美術工芸大学で工業デザイン専攻の野村靖治さんで、ボランティアとして制作していただきました。

名付け親は、新聞等で公募した結果、最優秀賞を受賞された西田ひろ美さん(金沢市)「ユウちゃん」と二法田圭子さん(金沢市)「優くん」で、補作したものです。優しさ、勇気、友達「ユー」です。

